

4190 **カナダ・アラスカの旅：少し様相が変わってきた** 29

少し、色彩が、グレーに、なってきた。日本語の灰色は、暗いイメージが、ともなうが、
水のある風景では、これも一興。そして、草花であれ、
色彩が登場してくれると、ぱ〜と、眺望が、輝きを増してくるように思える。
そんな時間の使い方を、していると、退屈しないし、面白い。



湖水は、半端ない寒さだが、空気も美味しい。

さみしいと、感じるより、元気をもらい、エネルギーが、注入された。

自然と、関わりを持ち、自然の素晴らしさを知り、自然が、人間には不可欠な存在と痛感。

象徴的な表現だが、山はみどり、野に花、人にはこころ。

ふと、久楽の世代の、当たり前なのが、当たり前でなくなって行くのか心配。

難しい話は、この辺で。次の街も近い。注意して、**爆走!**

